

施策評価シート

担当課：危機管理課

1 総合計画上の位置づけ

施策名	防災・減災・消防
政策名	安心な「暮らし」を守る
施策がめざす将来の姿	・市民が日頃から防災に対する意識を高く持つことで、災害が起こった時に適切な行動をとることができ、被害を最小限に抑える備えができています。

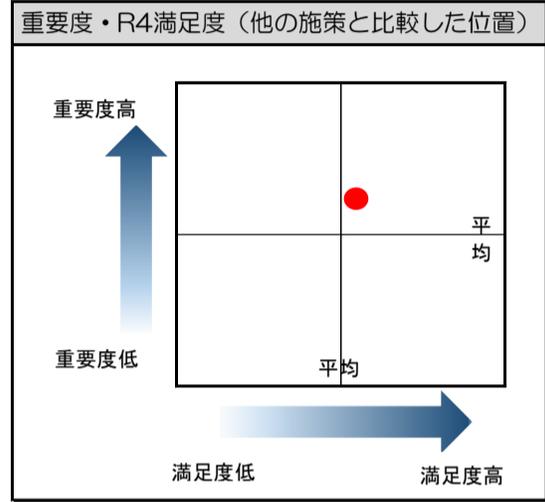
2 施策評価指標

成果指標名	単位	基準	令和4年度目標		令和9年度目標
自主防災会の防災訓練延べ開催数	回	95	120		150
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	131	162	5	36	36

3 施策の重要度と満足度（市民アンケート調査結果）

重要度／単位（％）
令和3年度
98.7

満足度（満足している市民の割合）／単位（％）		
令和3年度	↓ DOWN	令和4年度
90.3		90.2



4 施策の課題と今後の方針

（施策評価指標等の分析のほか、今後重点化していく事務事業について、現状・課題・背景などを踏まえて記載。）

本市において甚大な被害が発生した平成30年7月から5年が経過し、市民の災害に対する危機感が次第に薄れている状況です。全国各地において大雨等による災害の局地化・激甚化及び大地震も頻発しており、災害に対する備えや危機感を共有する必要性を感じます。今年度、（仮称）防災基本条例を制定し、市民や事業者に対し、改めて「自助」「共助」の重要性を伝え、日ごろからそれぞれの立場における防災対策の役割の周知と市民に対し、災害に対する備えの重要性の周知と充実に注力します。

5 施策を構成する事務事業の今後の方向性

（右欄は、施策を構成する事務事業のうち、今後特に重点化するものに○、縮小するものに△、廃止するものに▲を付す。）

事務事業名①：自主防災事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
16,183	防災資機材整備事業補助金	↗	↗	「自助」「共助」をより一層推進するため、（仮称）防災基本条例を制定し、防災の意識向上に向けた周知活動を実施し、市民、事業者それぞれの役割と必要な備えの充実にに向けた取組に注力します。	○
	災害避難カード作成事業	↘	→		

事務事業名②：防災訓練事業

R4決算額 （千円）	重点化（縮小）する細事業 （主なもの2事業まで）	方向性		事務事業の今後の方向性	重点化
		事業費	成果		
942	総合防災訓練事業	→	↗	コロナ禍で防災訓練の中止が相次いだことにより、各自主防災組織において訓練自体の必要性が問われている状態にもあります。改めて、災害対策の必要性と防災に対する知識とスキルの習得の必要性を感じられる取組となるよう見直します。	